

■「効果の見える治水事業」

愛媛県 峰今坊地区(大洲市)の地すべり対策事業 『峰今坊地区 大深度集水井工事が平成22年11月に完成予定』



愛媛県南予地方局大洲土木事務所長 長野 政人

■事業の概要

愛媛県の県庁所在地である松山市から南西に約50kmの場所に位置する大洲市は、愛媛県の南部、南予地方の主要都市であり、県内最大の河川である肱川流域の盆地部に栄えた城下町です。峰今坊地区は、肱川河口の東方約5kmの山地斜面の中腹に広がる緩傾斜面地に位置しています。

当地区内では、道路面の亀裂など地すべり変動が多く確認されており、集落が点在するとともに、樹園地や迂回路のない市道など、保全すべき施設が多いことから、平成16年度から地すべり対策事業に着手しています。

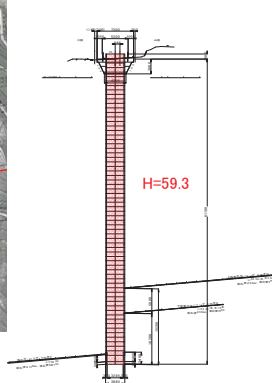
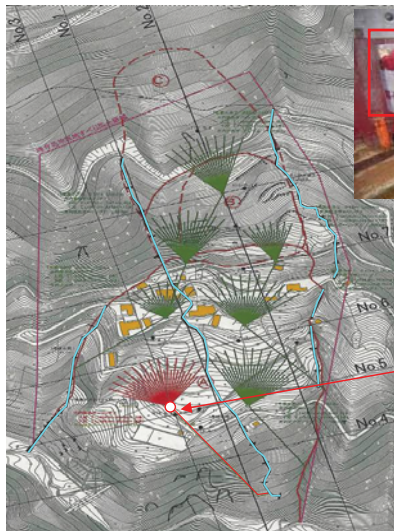
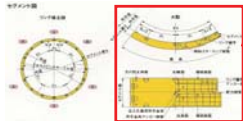
当地区の地すべりは、地下水の上昇を誘因として、地すべり変動が活性化すると推測され、地すべりブロック両側の小谷からは多量に地下水が供給されるなど、水の影響を受けやすい地形となっています。

そのため、まず地すべりブロックの両側部から流入する地表水を速やかに排除する水路工を整備(H17~H19)すること、次に地下水を排除・低下させる集水井工(H19~H22)を整備することとしました。

集水井の構造検討においては、深井戸(50m以上)の実績が豊富で、かつ安全に施工ができるRCセグメント工法を採用しており、約60mの深度は、全国的にも施工事例が少なく、本県においては、最も深い集水井となっています。

これらの対策工事により、現在のところ地すべり変動は収束しています。

『峰今坊地区の工事概要』
水路工 L=1,005m
集水井工(RCセグメント工法)
φ3.5m H=59.3m N=1基



「上老松地区の治水対策」



大洲市長 清水 裕

大洲市は、愛媛県の西部に位置し、伊予灘に注ぐ県下最大の「一級河川肱川」とその支川にそって、田畑や集落、市街地が形成されるとともに、古くから水量が豊富で流れも緩やかな肱川を利用した舟運の要衝として栄えてきた町並みは「伊予の小京都・水郷大洲」と称えられてきました。

このように、本市のシンボルである肱川ですが、全国的にも珍しい川が山より先にできた先行性河川であり、河口が狭隘な上に河川勾配が緩やかなため、洪水が吐けにくい地形となっており、多くの支川が大洲盆地に集中することから、島根県の江の川、京都の由良川と並び治水対策の難しい河川の一つとされています。

特に肱川中流域に位置する東大洲地区は、平成5年に『八幡浜・大洲地方拠点都市地域』に指定され、四国縦貫・横断自動車道の開通とともに、南予地域の玄関口として発展してまいりましたが、平成7年7月の梅雨前線豪雨災害をはじめ、これまで甚大な浸水被害を度々受けてきたことから、同地域の治水対策は、今後の本市発展のために必要不可欠な緊急の課題となっております。

しかしながら、この東大洲地区の治水安全度を向上するためには、上下流の治水バランスを考慮し、下流部狭隘地の無堤部対策を先行して重点的に推進する必要があり、このため平成19年度から、国土交通省により右岸3km付近の大和(上老松)地区において全国でも数少ない土地利用一体型水防災事業に着手いただいております。

この事業は、狭隘な地形に県道およびJRが通過し、さらに川際まで人家が密集していることから、通常の堤防方式による改修を実施した場合、約50棟の家屋移転が余儀なくされ、改修後には、地域社会の形成が困難となることから、国土交通省による宅地嵩上げ方式【土地利用一体型水防災事業】及び愛媛県が実施する【県道交通安全事業】(主要地方道大洲長浜線)に併せて、事業の円滑な推進と良好な住環境の整備を図ることを目的に、大洲市が実施する【土地区画整理事業】を、三者一体となり整備することで、上老松地区の治水安全度を早期に向上させる事業として、平成26年度の完成を目指しております。

肱川流域では、この他中下流部に無堤部対策が必要な箇所はありますが、今後とも、国、県のご高配をいただきながら、平成16年5月に策定されました「肱川水系河川整備計画」に基づき、上下流の治水バランスを考慮しながら、山鳥ダム建設、鹿野川ダム改造及び河道整備を推進することにより、肱川流域の治水安全度の早期向上に努めてまいりたいと考えています。

上老松土地区画整理事業

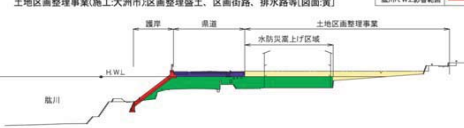
- 事業期間 : 平成19年度～平成26年度
- 総事業費 : 約5.8億円
- 事業内容 : 区画整理面積 3.8ha
区画内道路 9路線
公園 4箇所

上老松地区整備平面図(河川・道路合併事業、区画整理事業)



凡例

河川	河川
道路	道路
土地区画整理事業	土地区画整理事業
水防区画整理事業	水防区画整理事業
肱川W.L.影響範囲	肱川W.L.影響範囲



着工前



現在



平成22年4月8日撮影